

令和4年7月19日

マテリアルズ・テラリング研究会会員各位

拝啓 盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は当研究会活動にご協力賜わり、誠にありがとうございます。

全国的には第7波のコロナ感染拡大が危惧されており、感染者総数が総計1000万人を超えたと報道されています。政府は4回目接種の対象拡大方針を表明し、まん延防止等重点措置などの行動制限適用を現時点では否定しました。同時に、電力需給の逼迫が懸念される今冬には9基の原発再稼働方針を提示しました。

このような状況の中でも、ここ、京都では3年ぶりに祇園祭り山鉾巡行(7月17日(日))が盛大に挙行されました。連日、猛暑の中、観光客の皆様が町家の軒下を散策される様子も放映されています。京都では僅かながらも一時に比べ、活気が戻りつつあるようです。

当研究会もここ2年間にわたり、Zoom形式で研究会を開催せざるを得ない状況でした。しかしながら、5月に開催の241<sup>st</sup> ECS Vancouver Meetingでは我が国の参加者は極めて限られておりました。一方、北米やEU諸国から多くの参加者を得て、活発な議論が行われました。改めて対面形式会議の貴重さを感じることができました。また、来る10月開催の242<sup>nd</sup> ECS Atlanta Meetingでは多くの日本人を含む世界各国からの研究者の参加と、過去2年間にわたる数多くの研究成果の発表が期待されています。

これらの背景を踏まえまして、第92回マテリアルズ・テラリング研究会も対面形式で行うことを決定しました。再生型エネルギーと材料科学動向、カーボンフリーエネルギー、電力変換貯蔵、ナノ構造デバイス、宇宙工学に関するご講演等、基礎科学から応用に至る幅広い御講演をご披露いただけるように交渉中です。大学院生諸君には、積極的にポスター発表をお勧めいただき、先生方や参加者との充実した議論を通じて研究の方向性を自ら模索していただければと存じます。多数の皆様方のご参加を、お待ち申し上げます。(尚、マスク着用、3密回避にご協力願います。更に、今後の感染拡大状況によりましては、大幅なプログラム変更もあり得る可能性があることをお含みおき願います。)

取り急ぎ、ご案内申し上げます。

敬具

マテリアルズ・テラリング研究会事務局

<追伸>

出席を希望される方は**7月25日（月）午前中迄**に必ずメールにて事務局宛てにご連絡下さい。

講演者の方で解説、論文別刷等の参考資料がございます方は、**7月25日（月）迄**に電子ファイルで事務局宛にお送り下さい。

大学院生の積極的なポスター発表を募集しております。発表を希望される学生諸君におかれましては、**7月25日（月）午前中迄**にメールにて名前、所属、ポスタータイトルをご連絡下さい。8/4日に、1～3分間の**Short Presentation**を開催します。3枚の**Power Point Slide**をご用意願います。数多くの諸君の発表申し込みを期待しています。また、**Poster 賞**を选考します。

<二伸>第93回マテリアルズテラリング研究会は下記の予定です。

第93回マテリアルズテラリング研究会

2022年12月17日(土)10:00-18:00 講演会

(カーボンニュートラルと原子力を含む基幹電力ネットワーク)

京大芝蘭会館

懇親会 18:00-20:00

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

<事務局アドレス>

=====

〒611-0011

京都府宇治市五ヶ庄

京都大学エネルギー理工学研究所

エネルギー利用過程研究部門 複合過程研究分野 野平研究室内

マテリアルズ・テラリング研究会事務局

E-mail : [matejimu@iae.kyoto-u.ac.jp](mailto:matejimu@iae.kyoto-u.ac.jp)

=====

## 【第92回マテリアルズテラリング研究会プログラム】

※研修所の使用が許可され 急遽対面形式に変更しましたので、先生方のご予定確認が済んでおりません。また、全国的に第7波の感染拡大が危惧され始めており、状況次第では、内容が大幅に変更される可能性もありますので、ご了解願います。研究室でまとめて参加者お申込みいただく場合は、参加者全員のメールアドレスをお知らせ願います。

※聴衆として外国人研究者/大学院生が参加される可能性がございます。出来ればスライドには若干の英文用語も交えてご発表いただけると有り難く存じます。

※Poster Session については8月1日頃に発表予定のタイトル一覧をご確認下さい。

< 8月4日(木) >

12:55 開会の辞 野平俊之(京大エネルギー理工学研究所)

13:00-14:00 「プラズマスプレーによるナノ粒子構造化と全固体電池負極への適用可能性」  
神原淳(大阪大学工学研究科)

14:00-15:00 「液中微粒子の分散・凝集現象と表面間力：新たな体系の構築に向けて」  
石田尚之(岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻)

15:00-15:30 Coffee Break

15:30-16:30 「固体電解質の開発状況について」  
鈴岡健司(三井金属鉱業株式会社)

16:30-17:30 「原子力平和利用の取組と核燃料サイクル」  
岩本友則(日本原燃株式会社)

17:30-20:00 夕食

20:00-21:00 Short Presentation

21:00-23:00 Poster Session

<8月5日(金)>

9:00-10:00 「分子集合体の構造、物性の制御と有機エレクトロニクスデバイスの高性能化」  
若宮淳志(京都大学化学研究所)

10:00-11:00 「ナノ構造炭素が生み出す界面エンジニアリング」

金子克美(信州大学環境エネルギー材料科学研究所)

11:00-11:15 Coffee Break

11:15-12:15 「宇宙探査技術に関する JAXA でのオープンイノベーションの取り組み事例」  
坂下哲也(JAXA)

12:15-13:00 昼食

13:00-17:30 リクレーション

17:30-20:00 夕食

20:00-21:00 「Space Walker の ECO Rocket」  
留目一英(Space Walk)

21:00-22:00 「国際宇宙ステーション「きぼう」を活用した酸化ガリウムの融液物性測定」  
吉田健治(AGC)

22:00-23:00 「水素エネルギー社会の実現に向けた金融機関の役割」  
羽田貴英(三井住友信託銀行)

<8月6日(土)>

8:45-9:45 「水電解システムの開発の現状と今後の展望」  
中嶋泰大(旭化成株式会社環境ソリューション事業本部)

9:45-10:45 「燃料アンモニアによる火力のゼロエミッション化」  
須田俊之(IHI 戦略技術統括本部 戦略技術プロジェクト部)

10:45-11:45 「活性金属の電気化学プロセッシングの in-situ TEM 計測(仮題)」  
津田哲哉(千葉大学大学院工学研究院)

11:45-11:55 Poster 表彰式

11:55-12:00 閉会の辞-